

# 商業活性化ワーキング会議録

## 商業活性化ワーキング会議が始まりました！

平成29年12月10日（日）に、小郡市商工会館にて第1回目となる商業活性化ワーキング会議を開催しました。

このワーキング会議は、市の中心市街地である西鉄小郡駅周辺地区（駅から概ね半径500mの範囲）の活性化に向けた取組をワークショップ形式で検討することを目的に開催するもので、全12回の開催を予定しています。

第1回目は、今回のワーキング会議の講師である有限会社 日智の代表取締役である佐藤皓祠（さとう ひろし）さんから、『厳しい都市間競争の狭間で戦う街・・・黒崎』と題して、佐藤さんが6年間、タウンマネージャーとして活性化に取り組まれた黒崎地区における中心市街地活性化に向けた活動についてご紹介いただきました。

### 講師プロフィール



大学卒業後(株)そごう百貨店に入社、顧客管理や系列化施策、マーケティングや外販営業企画、商品開発に取り組む。

(株)そごう退社後、流通小売系を中心に営業コンサルティング会社有限会社 日智(ニッチ)を設立し、その後国の外郭機関や行政、商工会議所の中小企業、地域活性化事業支援など経済、地域活性化に取り組む。

## まちづくりとは、みんなで面白く、楽しくやること！活性化には不可欠

北九州市の副都心である黒崎も、佐藤さんが関わられた当初は、買い物客が小倉や博多に流れており、人通りの少ないまちだったそうです。また、誰も利用しない公園や薄暗いアーケードなどにより「怖い」「汚い」「暗い」と言われていました。

そのような中、中心市街地活性化計画を契機として、活性化に向けて、どのように人に来てもらうか、そして、回遊してもらうかという議論が始まります。集まった方は、黒崎地区が「好き」で「何かをしたい」と思う方々。議論を重ねる中で、「こんなことしたい」「あんなことできないか」「それならば、この空き店舗が使える」「この場所を使っていいよ」というふうには話が展開し、思いが具体化、実際に実現することになります。

ご紹介頂いた事例の1つに、黒崎が長崎街道（別名：シュガーロード）の宿場街であったことから、シュガーに引っかけてスイーツのお店「96 カフェ」があります。これは、お店をこれから出したいという方が、期間限定で実際にお店を出してみるチャレンジショップであり、6店舗が代わる代わる営業をしました。「96 カフェ」が賑わいの拠点となり、人、特に女性が再び集まるようになったそうです。現在、「96 カフェ」は役割を終えてありませんが、ここから巣立った店主の数名が黒崎でお店を出しているそうです。

佐藤さんは、このような経験を踏まえて、「まちづくりは、みんなで面白く、楽しくやることであり、欠かせない要素」と言います。小郡駅周辺地区を舞台に、面白いこと、楽しいことを考えてみませんか？

## 次回は平成30年1月21日（日）13:30から

次回は『小郡駅周辺地区の現状と課題』をテーマに、まち探検を行い、地図を広げてみんなで話し合います。

ワーキング会議では随時、メンバーを募集しています。小郡市が好きで、西鉄小郡駅周辺地区の活性化に関心・チャレンジしたい事業者及び一般の方なら、どなたでも参加可能です。詳細については、小郡市商業活性化協議会事務局までお問い合わせ下さい。皆様のご参加をお待ちしています！！

### 発行・お問い合わせ先：

小郡市商業活性化協議会（事務局：市商工企業立地課）

（電話：72-2111（内線142） FAX：72-5050 E-mail:shoko@city.ogori.lg.jp）